

---

**いつかはあなたのたった一人になれますように**

おこめ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

いつかはあなたのため一人になれますように

### 【Nコード】

N5263R

### 【作者名】

おこめ

### 【あらすじ】

幸せな恋にすがりついた片思いのお話です。

## 1話 あなたが好き

困ったときに頭をかく癖

気だるそうな立ち姿

不器用なその仕草も

ねえ あなたは気づいてないでしょう？

前を見てると思ったら急にそっぽ向いて

かと思つたら視線は遠い先

あなたが見てるものを見たいと

思わず目を追う私がいた

前を歩くあなたの背中

投げ出されて遊んでる指先

少し跳ねてる髪も全部

触れたくて、愛しくてたまらない

今 どんな顔をしているの？

好きです。

なんて言えないけど

心で唱える何回も

止められない想いの数だけ

おまじないのように繰り返す

いつかはあなたのたった一人になれますように

願いをそっと囁いた

## 2話 幸せな片思い

あなたを想う愛しい日々

あなたがあくびしたら

夜更ししたのかなって気になって

大きな口開けてるあなたに和んでる

あなたの肩の力が抜けてたら

がんばったのかなって気がついて

誰よりも理解したくて努力する

あなたの元気がなかったら

誰よりも先に飛んでって

明るく接して願ってた

早く元気になってね、と

あなたの全部が気になって

ささいな変化に敏感で

誰よりも力になりたいし

どの子よりも一番可愛くいたい

あなたに映る私は何色ですか？

片思いって七色

想いは届いてないのに

あなたを想うだけで幸せなの

胸が暖かいこの気持ち

これを愛しいって呼ぶのかな

まだ気持ち届いてないけど  
伝える勇気もまだないけど  
いつも心で願ってます  
いつかはあなたのため一人になれますように  
どうかこの恋、叶いますように

### 3話 いつかはあなたのため一人になれますように

片思いって不思議だね

報われるかなんてわからないのに  
幸せな結末に縋りついているの

いつかはあなたのため一人になれますように

星を見ては願いかけて

おみくじに気持ち込めて  
あなたを見るたびに焦がれて  
ひたすら祈って幸せだった

いつかはあなたのため一人になれますように  
ずっと見ていたい夢だったの

いつかっていつなの？

明日、明後日、それとも来年？  
そのいつかって本当にくるの？  
そんなこと考えたくもなかったの  
そんなあなた、見たくなかった

あの日から世界が灰色になりました

## 4話 灰色

あの日、私に声をかけてくれたあなた  
すごい嬉しかったのよ

話をしてくれるってことは

私を何かしら求めてくれてるということ

それが特別じゃなくても

あなたはその瞬間私だけを見てくれる

いつも照れちゃうけど幸せだった

でも、今日は何かちがう

私を誰かと間違えた？

いつもと違う瞳の輝きと

少しうわずった言葉遣い

気付かないはずがなかった

いつもと全然違うじゃない…

嫉妬して

悔しくて

苛立って

誰を見ているの

どこに向かっているの

なんだ、いるんだ、

好きな人…。

でもいつもと違うあなたは  
いつもよりずっと素敵で  
それにときめいたことが不覚だった  
その目は私を見てはいないけど  
射抜かれた、その瞳に  
思い知らされた  
やっぱりあなたが好きだって

どんなに想っても叶わないって  
そんなこと知りたくなかった  
胸が苦しさに切り裂けそう  
夢を見させて踊らせて  
目を閉じてもあなたがいるから  
もうあなたしか見れないの

あの日から世界が灰色になりました。

## 5話 幸せだった片思い

あなたが違う子という姿  
見ているだけで辛かった  
なんで私じゃないんだろう  
どうして私はここにいるんだろう  
私じゃだめだったの？  
何度も心で唱えたの  
それでも返ってこないから  
虚しさはさらに積もっていった

今日も一人で傷つくわ  
あなたを見る度  
あなたの声がする度  
愛しかったその笑顔すら  
今の私には痛すぎる  
これ以上私を傷つけないで

好きだったのよ  
私にはこれが一度の恋  
風を感じて心に届いた  
幸せと言える日々だった  
無邪気に愛したこと  
あなたを想っては微笑んで  
理想の女の子に憧れた  
誰よりもそばにいたかった

誰か教えてください

この恋の終わりを  
この気持ちの最後を  
私が見ていた夢すべて  
嘘だったと優しく諭してください

きつと何度でも夢に見る  
あなたのこと  
あの日捕まれた視線を

忘れることができる頃  
新しい恋が始まるって  
私に優しく諭してください。

## 5話 幸せだった片思い（後書き）

以上にて完結です。

ここまで読んでいただき、本当にありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5263r/>

---

いつかはあなたのたった一人になれるように

2011年10月8日18時15分発行